

研究課題番号	3CN-2204
研究課題名	地域企業を中核とした LMO 系リチウムイオン電池域内循環システムの提案
研究実施期間	令和 4 年度～令和 6 年度
研究機関名	東北大学
研究代表者名	渡邊 賢

1. 委員の指摘及び提言概要

資源循環は今後重要になるというのが世界共通理解であり研究の必要性は高い。3つの異なる組織が連携していること、未来社会創造事業研究とも絡めていることなどは評価できる。石油系を使わない再生技術は興味深い。各サブテーマとも計画以上の成果を前倒しで上げているようであるが、大きな進展の具体的な内容がわかりにくい。成果の環境政策への貢献の記述をさらに具体性を持って整理することが望まれる。地域での循環と全国規模や世界規模など広域の循環にはそれぞれに強みと弱みがあり、仙台を中心とした分析の上で、経済や輸送・貯蔵コストなどから良いモデルを考えてみてはどうか。また、社会実装を進めるためには、事業性と環境面での利点など複数の視点からのチェックが必要で、カーボンニュートラルの観点から、域内システムの評価や、CO₂ やエネルギー収支などの定量的評価の方法論が示されることが求められる。

2. 採点結果

評価ランク：A